

事前評価報告書

総合理工学研究機構運営委員会

平成26年10月24日(金)

研究課題	クニマスの保全並びに活用に関する研究	
研究期間	平成27年度～29年度	
	評価項目	平均点
	研究の背景	4.4
	研究目的の妥当性	4.0
	研究内容の合理性・新規性	4.2
	研究予算の妥当性	3.4
	目的達成の可能性	4.0
	期待される研究成果	4.4
	予備研究の状況	4.0
	総合評点	4.1
<p>絶滅したと考えられていたクニマスが西湖で発見されて以来、種保全を目的として平成24年度から3カ年間「クニマスの生態解明及び増養殖に関する研究」に取り組み一定の成果を得た。しかし、新たな課題として資源動態と環境要因の影響の解明、産卵生態と産卵環境の解明、養殖および復活技術の確立が浮上し、早急な解決が必要となったことから、本研究では、さらに広い視点でクニマスの保全と活用を図ることを目的に取り組むものである。</p> <p>本研究は、これまでの成果を基礎にした研究プロジェクトであり、クニマスの保全と活用に関する成果が期待される。</p> <p>先行研究で見ると、クニマスの生存環境は極めて狭いと考えられる。研究の実施にあたっては、単に状態の把握に止まらず、生存のための環境整備、特に棲息領域の確保について考えてほしい。また西湖の地形、水温、水質などを調査し、どのような条件が整えば産卵が可能なのかを明らかにし、その結果を飼育にも結びつけていくことが重要である。</p>		